

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会
令和 8 年度 第 1 回定期総会

議案書

議案審査

- 1) 第 1 号議案 令和 7 年度事業報告
- 2) 第 2 号議案 令和 7 年度収支会計報告及び監査報告
- 3) 第 3 号議案 令和 8 年度事業計画および予算案
- 4) 第 4 号議案 令和 8 年・9 年度沖臨技役員推薦について
- 5) 第 5 号議案 令和 9 年度に向けての会費の改正について
- 6) その他

※ 沖臨技ホームページに掲載いたしますのでご覧ください

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 令和 8 年度 第 1 回定期総会

令和 8 年 5 月 30 日(日) 那覇市立病院 4 階講堂

次第

一、司会者あいさつ

一、開会の辞

一、会長あいさつ

一、議長選出

一、総会役員選出

資格審査委員・議事運営委員任命

一、資格審査委員・議事運営委員報告

一、議案審査

- 1) 第 1 号議案 令和 7 年度事業報告…………… P. 3
- 2) 第 2 号議案 令和 7 年度収支会計報告及び監査報告…………… P.15
- 3) 第 3 号議案 令和 8 年度事業計画および予算案…………… P.21
- 4) 第 4 号議案 令和 8 年・9 年度沖臨技役員推薦について…………… P.29
- 5) 第 5 号議案 令和 9 年度に向けての会費の改正について…………… P.31
- 6) その他

一、総会役員解任

一、議長あいさつ

一、閉会の辞

令和 8 年度
一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 各賞受賞者

2026 年度「第 61 回小島三郎記念技術賞」

大城 健哉（那覇市立病院）

2026 年度「日臨技永年職務精励賞」

小板橋 まゆり（首里城下町クリニック第一）

渡口 貴美子（国立病院機構 沖縄病院）

安里 奈美（ハートライフ病院）

又吉 理智子（大浜第一病院）

宮城 恵巳（浦添総合病院）

島袋 泰彦（ハートライフ病院）

速水 貴弘（那覇市保健所）

三木 嘉宏（沖縄県立宮古病院）

宮里 泰山（沖縄県立中部病院）

松田 尚也（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）

原國 督（翔南病院）

令和7年度事業報告

現在、日本の医療情勢は、持続的な物価高騰と人件費上昇のダブルパンチにより、医療機関の経営が極めて厳しい状況にあります。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）もほとんど収束し、私たち沖縄県臨床検査技師会の各事業に対する体制も、コロナ禍以前に戻ってきております。そのような現状のなか、沖縄県臨床検査技師会が新体制となって、1期2年を経過いたしました。着々と組織全体が次世代への移行期に入っており、役員一同懸命に取り組んでおります。

さて、令和7年度を振り返ってみると、まず、令和8年沖臨技新年会・祝賀会がノボテル沖縄那覇で令和8年1月25日（日）に開催されました。手登根稔監事が令和7年春の叙勲（瑞宝双光章）を受章し、これまでの沖臨技活動の功績をたたえる集大成となりました。また、沖臨技からの特別功労賞として、故人となった運天芳浩氏（沖縄協同病院）、大城明子氏（友愛医療センター）、松田英世氏（沖縄ソノグラファーサポート）の3名が受賞し、ご家族へ届ける形で、これまでに経験したことのない非常に感動する新年会・祝賀会となりました。

重点課題としては、「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催があげられます。沖縄県においては、昨年度までに最終的に計11回開催し、これまで865名の会員が受講し約68.6%の受講率を示しており、令和8年4月14日時点で全国5位となっております。この11回は、令和8年1月11日（日）におきなわクリニカルシミュレーションセンター（西普天間）で開催し、58名の参加者がみられました。今後は、中央もしくは、日臨技九州支部で開催され、後者の九州支部においては九州北部地区と九州南部地区の2ヶ所で開催予定となっております。この資格は、臨床検査技師免許へ添付する意味合いの重要で、且つ、今後の臨床検査技師業務のあり方に不可欠な資格となってきますので、未受講の方は早めに受講されますようお願い申し上げます。

第3回となった「地域リーダー育成研修会」は、令和8年2月22日（日）に友愛医療センターで開催され、19名の参加がありました。この研修会では日臨技から真髓となる横地会長を招いて、リーダーのあり方だけでなく、社会情勢・医療情勢から今後の臨床検査技師のあり方まで講演していただきました。沖臨技からの講師やグループワークも組み込んだ内容となり、非常に充実した研修会となりました。今後も、多数のご参加を希望しております。

沖臨技主催の「新人研修会」につきましては、令和7年7月12日（土）に沖縄産業支援センターで開催し、45名の参加者がみられました。以前のようにペンションを貸し切った宿泊の研修体制は、現在の時代にそぐわないと感じられ、今後も宿泊なしの終日開催で進めていきたいと思っております。この事業は、宿日直に対応出来るため、学術部から各分野の基本的なレクチャーだけでなく、日臨技や沖臨技、連盟に至るまでを網羅しており、一番の目的は、受講者同士や講師・役員などと横のつながりを深めてもらうことで、是非多くの方々に参加いただきたいと望んでおります。

公益活動としては、まず、なごみ会（沖縄県医療保健介護連合）主催の「県民健康フェア」が令和7年8月17日（日）に沖縄コンベンションセンターで開催し、多数の県民の方々の参加がみられ、毎年臨床検査技師会のブースは、多数の人で賑わっております。次に、恒例の「全国“検査と健康展”in 南風原 2025」は令和7年12月14日（日）にイオン南風原店で開催いたしました。例年と比較して、集客数が少なく感じ、開催地や企画の内容も検討していかなければならないと思わ

れました。

学術活動に関しては、まず、2025 年度沖縄県医学検査学会（第 60 回）が令和 7 年 8 月 10 日（日）に琉球大学文系講義棟で開催いたしました。「臨床検査×AI の推進とグローバルな臨床検査技師の融合」の学会テーマで、企画は特別講演に横地常広日臨技会長をお招きし、日臨技の方向性やこれからの臨床検査技師について講演していただきました。他に、学会長講演や学生フォーラムも開催し、部門企画は生物化学分析部門と輸血・細胞治療部門が担当しており、学会テーマに沿った素晴らしい学会となりました。

次に、日臨技助成金申請研修会についてですが、昨年度は 12 研修会を開催いたしました。各分野、この制度を有効活用しており、令和 7 年度も充実した内容が行われました。加えて、令和 7 年度（第 41 回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査も例年どおり 9 月に実施し、報告会も令和 8 年 2 月 8 日（日）に沖縄県医師会館で開催し、教育講演では沖縄県医師会の田名会長に「沖縄の医療課題とその対策」の内容でご講演いただきました。この教育講演は、例年専門的な内容になっておりますが、今回のようにパブリックな内容も今後必要かと思われま

す。日臨技は、昨年度 47 都道府県における行政との災害対策協定の締結を推進しておりますが、沖縄県も早急に行政と締結を目標にしておりましたが、達成できませんでした。この件に関しては、次年度に継続的に体制を構築していきたいと考えております。

連盟については、日本臨床検査技師連盟が毎月 Web での研修会を実施し、かなり力を入れております。地方の臨床検査技師連盟にとって大きな指標となっておりますが、当会でも会員数が伸び悩んでいる状況で、継続して増やしていかなければならない課題点となっております。

沖臨技の事業の一つに、4 年前から開始した「ひまわり奨学金事業」があります。令和 5 年に 1 名、令和 6 年に 2 名、昨年度は 1 名の奨学生が誕生しました。現在 4 名の方が対象となっております。

会計報告は、一昨年度に技師会 PC の総入れ替えや事務員の雇用補償などの見直しなど、大きな出費がありましたが、令和 7 年度は支出に関して、若干意識した取り組みを実施いたしました。この件は、中長期的に継続して考慮していきたいと思

います。以上、令和 7 年度の事業報告を述べてきました。次年度は、理事の交代も少なく、新体制となり 2 期目になり、真価が問われる年度にあたりま

す。理事 20 名、監事 2 名、計 22 名で、懸命に沖縄県臨床検査技師会活動に取り組んでいく所存でございます。会員の皆さまのご理解・ご協力を心からお願い申し上げます。

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会
会長 山城 篤

総務関係

1. [定期総会]

・令和7年度 第1回定期総会

日時:令和7年6月22日(日)15:10~16:10

場所:友愛医療センター 7F 会議室

2. [定例理事会] 開催形式:現地+Web 併用

理事会	日時	場所
第1回	令和7年4月9日(水)19:00~	沖臨技事務所
第2回	令和7年5月14日(水)19:00~	沖臨技事務所
第3回	令和7年6月11日(水)19:00~	沖臨技事務所
第4回	令和7年7月9日(水)19:00~	沖臨技事務所
第5回	令和7年8月13日(水)19:00~	沖臨技事務所
第6回	令和7年9月10日(水)19:00~	沖臨技事務所
第7回	令和7年10月8日(水)19:00~	沖臨技事務所
第8回	令和7年11月19日(水)19:00~	沖臨技事務所
第9回	令和7年12月10日(水)19:00~	沖臨技事務所
第10回	令和8年1月14日(水)19:00~	沖臨技事務所
第11回	令和8年2月19日(木)19:00~	沖臨技事務所
第12回	令和8年3月12日(木)19:00~	沖臨技事務所

3. [タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会]

・第11回(最終回)

日時:令和8年1月11日(土)9:30~17:30

場所:おきなわクリニカルシミュレーションセンター(西普天間)

受講者:58名

※ タスクシフト講習会修了者は日臨技会員の52.7%が修了。沖縄県は6位(634名、67.7%)

4. [臨床検査室責任者会議]

・第1回

日時:令和7年6月3日(土)16:00~17:00

場所:友愛医療センター 7F 会議室

参加者:34名

・第2回

日時:令和8年1月25日(日)10:00~11:00

場所:ノホテル沖縄那覇 BI ルボン

参加者:24名

5. [各賞受賞祝賀会・新年会]

- ・令和8年沖臨技新年会&祝賀会
日時:令和8年1月25日(日)12:00~14:00
場所:ノボテル沖縄那覇 B1 ルシエル
出席者:95名

6. [日臨技関係]

- ・令和7年度日臨技定期総会
日時:令和7年6月28日(土)
場所:ステーションコンファレンス川崎(川崎市)
定期総会:沖縄県受領率 56.8%
(有効受領数 489名×50円=24,450円協力金として沖臨技に入金された)
- ・令和8年賀詞交歓会
日時:令和8年1月23日(金)15:00~17:00
場所:都市センターホテル
参加者:手登根監事、山城会長、我如古理事
- ・令和7年度日臨技理事会(手登根監事出席)

理事会	日時	場所
第1回	令和7年4月26日(土)9:30~12:30	ステーションコンファレンス川崎
第2回	令和7年7月26日(土)9:30~12:30	欠席(学会参加のため)
第3回	令和7年9月27日(土)9:30~12:30	日臨技会館3階第一会議室
第4回	令和7年11月20日(木)18:00~20:00	Web
第5回	令和8年1月24日(土)9:30~12:30	日臨技会館3階第一会議室
第6回	令和8年3月28日(土)9:30~12:30	日臨技会館3階第一会議室

7. [九州支部関係]

- ・令和7年度第1回日臨技九州支部内連絡会議
日時:令和7年7月5日(土)14:00~
場所:エイムアテイン博多駅東会議室(福岡市)
参加者:手登根監事、山城会長
- ・令和7年度第2回日臨技九州支部内連絡会議・学術部門長会議
日時:令和7年10月17日(金)15:00~17:00
場所:シーハットおおむら(長崎県大村市)
参加者:手登根監事、山城会長、金城和美九州支部部門長
- ・令和7年度第3回日臨技九州支部内連絡会議
日時:令和8年2月6日(金)19:00~20:00
場所:web開催
参加者:手登根監事、山城会長

8. [令和7年度リーダー育成研修会]

日時:令和8年2月22日(日)9:30~17:00

場所:友愛医療センター 7階会議室

参加者:13名

実務委員:山城副会長、國仲副会長、登川副会長、田盛事務局長、立津理事

9. [世界アルツハイマー月間(9月)]

沖臨技ホームページ:色付け(オレンジ色)、アルツハイマー月間サイトのリンク

沖臨技事務所:入口に世界アルツハイマー月間ポスターや電光装飾にて啓蒙

10. [関連団体]

他団体への新年会・祝賀会への参加

- ・おもと会 天久の杜 ANNEX 落成式典:令和7年9月27日(土)天久の杜 ANNEX
- ・歯科医師会:令和8年1月8日(木)ナハテラス
- ・看護協会:令和8年1月10日(土)ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
- ・医師会:令和8年1月10日(土)ロワジールホテル那覇
- ・薬業連合会(薬剤師会):令和8年1月18日(土)ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
- ・放射線技師会:令和8年1月18日(日)那覇セントラルホテル
- ・栄養士会:令和8年1月24日(土)ノボテル沖縄那覇

11. [日本臨床検査技師連盟沖縄県支部]

・活動内容

令和7年1月:(沖臨技師会新年会)宮崎・国場衆議院議員、松本浦添市長、仲程浦添市
議来賓

花城沖縄市長選候補推薦状交付、松本浦添市長選候補推薦状交付、
仲程浦添市議選候補推薦状交付

令和7年3月:中村うるま市長選候補推薦状交付

令和7年4月:連盟執行委員会議

令和7年6月:かまやちさとし参議院議員候補決起大会・連盟執行委員会議

令和7年7月:27回参議院選挙

令和7年10月:令和7年連盟九州支部ブロック会議(長崎県 シーハットおおむらコミュ
ニティーセンターにて)参加は山城副支部長

令和7年11月:令和7年日本臨床検査技師連盟拡大受任執行委員会。

令和7年12月:名護市長選渡具知候補選挙対策本部にて推薦状交付。参加は我如古支
部長・松川監事

・連盟加入者 30人

渉外関係

1. [第14回新人宿泊研修会(教育事業)]

開催日:令和7年7月12日(土)

場所:沖縄産業支援センター

新卒から3年目くらいまでを対象とした新人宿泊研修会を当会主催で毎年開催している。昨年までは宿泊研修会という形で開催していたが、宿泊に関しての意見が多く、今年度は宿泊無しで、単日での開催を実施した。当日は、沖臨技・日臨技の概要から学部各分野のミニレクチャーをみっちり行い、アルコール類は厳禁で、料理をデリバリーした立食パーティーの形で懇親会を行った。アンケートでもレクチャーなど評価が高く、研修生にとって充実した一日であった。懇親会に関しては全体的にコミュニケーションが取りにくい印象があり、次回の検討課題となった。



2. [なごみ会主催第12回県民健康フェア(公共事業)]

開催日:令和7年8月17日(日)

開催場所:沖縄コンベンションセンター

県民健康フェアは健康に対する意識を高めてもらおうと、県内の保健医療関係17団体でつくる県医療保健連合(なごみ会)が主催となり(現在は沖縄県医療保健介護連合と名称が変更され、これまでの17団体に加えて、新たに4団体が加わり、現在21の医療介護関係団体で構成されている)、毎年実施している。本年度は天気も良く来場者の入りも上々で、各ブース大変にぎわっていた。当会は頸動脈検査や顕微鏡体験(細菌・細胞・血液等)の企画を準備し、頸動脈エコーは大人の方に人気であったが、子供たちも顕微鏡や試験管を覗いて楽しそうにしている姿が印象的であった。次年度は名称も変わり、内容も刷新される予定である。



3. [全国“検査と健康展”in 南風原 2025 (公共事業)]

開催日時: 令和7年11月24日(日) 10:00~15:00

開催場所: イオン南風原ショッピングセンター

イオン南風原ショッピングセンターにて全国「検査と健康展」を昨年に続き開催することができた。本年度もたくさんの方に参加してもらえた。例年使用している骨密度の費用が上がってきていたため、昨年度は骨硬度に変更し対応した。骨硬度の検査は、かかとではなく手首を使用して行うため、脱着が不要となり、好評で予想を上回る体験者数であった。各ブースでは大人も子供も、検査技師の業務体験など楽しそうに参加しており、中には熱心に質問してくる方も存在し、なかなか盛況であった。本年度も学生ボランティアに協力をしていただいた。積極的に仕事に取り組む姿勢は、学生ながら頼もしく、卒業後一緒に働けるのが楽しみである。



4. [令和7年度 沖縄県臨床検査技師会主催リーダー育成研修会（日臨技推進事業）]

開催日：令和8年2月22日（日）

開催場所：友愛医療センター

日臨技が推進している地域リーダー育成研修会だが、沖縄県では3回目の開催となる。本年度は日臨技から横地会長に直々に来沖していただき、「令和8年度日臨技事業活動」と「臨床検査技師の近未来と担うべき役割」という内容で講演をしていただいた。質疑応答も活発で臨床検査技師がこれから迎える問題に真剣に考えているようだった。もう一つ当会の国仲副会長に「私が考えるリーダー像」という内容で講演して頂いた。リーダーとしてどうあるべきなのか、皆真剣に受講していた。午後から Management Target Setting のグループワークを実施した。タスクシフト・シェアをお題にグループごとに考えてもらったが、驚くほど具体的にかつ建設的な内容をそれぞれ提示してきており、これからのリーダーたちの力量に脱帽するほどである。受講者の感触も上々で、ぜひ学会等の企画も踏まえ沢山の人が受講させるべきだとの意見も頂いた。



5. [令和7年 沖臨技新年祝賀会・表彰式（恒例事業）]

開催日：令和8年1月25日（日）

開催場所：ノホテル沖縄那覇

今年度の沖臨床技新年祝賀会・表彰式は、前会長の手登根氏が令和七年春の叙勲において瑞宝双光章を受章した。また、沖臨床技からの特別功労賞に、故人となった運天芳浩氏（沖縄協同病院）、大城明子氏（友愛医療センター）、松田英世氏（沖縄ソングラファーサポート）の3名が受賞に至った。祝賀会には多数の方が参加され、盛大に行われた。余興は、前年度に続き上江洲みやさんと國仲副会長に盛り上げていただいた。



学術関係

1. [2025年度 沖縄県医学検査学会(第60回)]

- ・会期:令和7年8月10日(日)
- ・会場:琉球大学人文社会学部講義棟 *現地開催のみ
- ・学会テーマ:「臨床検査×AIの推進とグローバルな臨床検査技師の融合」
- ・学会長:國仲 伸男(琉球大学医学部保健学科)
- ・副学会長:今泉 直樹(琉球大学医学部保健学科)
- ・実行委員長:宮里 泰山(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
- ・事務局長:田盛 仁(沖縄県立八重山病院)

<学会企画>

I. 特別講演

「今が旬!臨床検査“次のステージ”へ“臨床検査技師の未来展望と医療人としての役割”」
横地 常広 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長)

II. 学会長講演

「今後進むであろう臨床検査×AI&国際学会(IFBLS)に参加しよう!」
國仲 伸男(琉球大学医学部保健学科/沖縄県臨床検査技師会副会長)

III. 学生フォーラム

「これからの沖縄県臨床検査技師会と学生の関わりについて」
今泉 直樹(琉球大学医学部保健学科/沖縄県臨床検査技師会理事)ほか

<部門企画>

I. 生物化学部門

「“検査値を出した”だけじゃ救えない!~夜間当直で効く報告力・気づき力~」
大城 佑馬(沖縄県立中部病院)ほか

II. 輸血細胞治療部門

「“さあ、困った!こんな時どうする?”血液型が判定できない!」
仲宗根 雅司(沖縄赤十字病院/沖縄県臨床検査技師会理事)ほか

<一般演題> 34 演題

臨床化学(5)、免疫血清(1)、輸血(4)、血液(4)、微生物(3)、細胞(5)、病理(3)、
生理(7)、管理運営(1)、チーム医療(1)

2. [令和7年度(第41回)沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施]

沖縄県内の79施設が参加。昭和63年から開始し、今回で41回目を迎える。
報告会:令和8年2月8日(日)12:00~17:30 沖縄県医師会館(3Fホール)
教育講演:「沖縄の医療課題とその対策」について
講師:田名 毅 先生(一般社団法人 沖縄県医師会 会長)

3. [部門別検査研究分野の運営]

今年度も日臨技に準じて、9部門14分野の学術活動(研修会・講演会等)で運営。また、沖縄

県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も、数年前から学術委員として位置付けている。

<部門別検査研究分野>

部門	分野
1. 生物化学分析	1) 臨床化学検査
	2) 免疫血清検査
2. 臨床生理	1) 神経生理検査
	2) 循環・呼吸生理検査
	3) 画像診断検査
3. 病理・細胞	1) 病理検査
	2) 細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

<精度管理調査委員会>

実行委員長	副実行委員長
-------	--------

4. [学術活動(24回)]

開催日時	行事名	形式	点数	参加数
2025/6/19	臨床血液検査部門研修会～CBCの基礎～	Web	20	34
2025/6/22	令和7年度 臨床検査室責任者会議	現地	20	—
2025/6/22	沖縄県臨床検査技師会 令和7年度第1回 定期総会	現地	20	—
2025/7/5	ゼロからわかる臨床検査技師のための統計解析学	現地	20	74
2025/7/12	第239回 沖縄臨床微生物研究会	現地	20	24
2025/7/12	令和7年度第14回 沖臨技新人研修会	現地	20	22
2025/7/17	臨床血液検査部門研修会～血液検査部門に関する認定資格について～	Web	20	27
2025/8/10	2025年度 沖縄県医学検査学会(第60回)	現地	30	—
2025/8/17	第12回県民健康フェア2025	現地	20	57
2025/8/21	臨床血液検査部門研修会～凝固線溶系検査の基礎～	Web	20	27
2025/8/30	病理検査分野研修会～PAS反応の原理と染色方法～	現地	20	0
2025/9/18	臨床血液検査部門研修会～抹消血液像の基礎～	Web	20	58
2025/9/18	輸血検査研修会～不規則抗体検査と交差適合試験～	Web	20	64

第1号議案 令和7年度事業報告（学術）

2025/10/16	遺伝カウンセラーの一日	Web	20	25
2025/10/23	臨床血液検査部門研修会～骨髄像の見方・基礎編～	Web	20	33
2025/10/31	輸血検査研修会～沖縄県離島地域における輸血体制の現状～	Web	20	34
2025/12/13	細胞検査分野研修会～パリシステムと尿中小型異型細胞～	現地	20	10
2026/1/11	第11回 タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	現地	20	58
2026/1/11	第3回 病理細胞検査部門研修会(実務と管理)	現地	20	72
2026/1/24	輸血検査研修会～血液センターの臨床検査技師～	Web	20	41
2026/2/7	輸血検査研修会～直接抗グロブリン試験の結果解釈と輸血への対応～	現地	20	45
2026/2/8	令和7年度沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会	現地	20	25
2026/2/13	細胞検査研修会～HPV検査単独法導入後の細胞診のあり方・考え方～	現地	20	28
2026/2/22	令和7年度リーダー育成研修会	現地	20	13

*日臨技からの助成金対象(最大5万円)の研修会が12回開催された。

5. [学術会議] (計4回)

学術会議	日時	場所
第1回	令和7年5月29日(水)19:00~20:00	沖臨技事務所(Web併用)
第2回	令和7年8月5日(木)19:00~20:30	沖臨技事務所(Web併用)
第3回	令和7年12月10日(火)19:00~20:00	沖臨技事務所(Web併用)
第4回	令和8年3月4日(水)19:00~20:00	沖臨技事務所(Web併用)

令和7年度 収支決算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位：円)

	前年度決算 (令和5年度)	予算額	決算額	増減 (対予算額)	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 入会金収入					
入会金	72,500	75,000	77,500	2,500	¥2500×(正31名,再0名)
② 会費収入					
正会員会費収入	4,475,000	4,500,000	4,460,000	-40,000	892名×¥5,000
賛助会員会費収入	840,000	880,000	860,000	-20,000	43社×20,000
県会員費収入	-	-	-	0	
③ 事業収入					
事業収入	1,667,000	1,800,000	1,734,000	-66,000	
④ 補助金等収入					
助成金収入	1,422,000	1,400,000	1,030,000	-370,000	健康展、ニューリーダー研修会
受託収入	1,886,852	1,900,000	2,067,132	167,132	医師会等
⑤ 雑収入					
受取利息	2,249	100	6,520	6,420	
雑収入	429,059	269,900	639,303	369,403	放技会家賃、立替金返金等
経常収益計	10,794,660	10,825,000	10,874,455	49,455	
(2) 経常費用					
① 事業費					
給与手当	-	0	-	0	
諸謝金	90,000	100,000	60,000	-40,000	講師謝礼(県学会講師料)
会議費	1,366,519	1,100,000	1,268,814	168,814	学会ランチョンセミナー等
旅費交通費	989,127	600,000	882,080	282,080	行動費
通信運搬費	264,146	250,000	434,400	184,400	
消耗品費	1,107,815	1,000,000	1,088,828	88,828	精度管理試料など
印刷製本費	1,114,135	900,000	1,008,375	108,375	会誌、パンフレット、パネル代
賃借料	1,443,352	1,200,000	1,460,319	260,319	会場費・機器レンタル
渉外活動費	-	10,000	-	-10,000	広報活動費
雑費	20,250	20,000	20,970	970	
分野活動研究費	1,252,000	1,200,000	866,500	-333,500	分野活動・勉強会など
租税公課	23,762	20,000	21,942	1,942	講師料等に伴う
② 管理費					
給与手当	1,113,070	1,450,000	1,365,706	-84,294	
福利厚生費	305,077	250,000	290,973	40,973	香典等、他団体会費・会合参加費等
会議費	176,263	180,000	178,984	-1,016	理事会、各種会議
旅費交通費	1,454,275	900,000	1,212,847	312,847	九州学会参加費・九臨技会議、理事行動費
通信運搬費	980,653	450,000	391,183	-58,817	NTT、宅配、切手、ハガキなど
減価償却費	-	-	-	0	
消耗什器備品費	1,011,835	0	33,991	33,991	
消耗品費	188,673	80,000	59,770	-20,230	
印刷製本費	194,546	200,000	162,235	-37,765	コピーカウント料
光熱水料賃借料	713,350	800,000	708,437	-91,563	家賃、電気、水道
九州支部負担金	26,725	30,000	-	-30,000	
雑費	42,786	50,000	190,262	140,262	登記申請料等
租税公課	20,000	20,000	20,000	0	源泉徴収、県税など
法定福利費	9,899	15,000	198,316	183,316	事務員雇用保険料
経常費用計	13,908,258	10,825,000	11,924,932	1,099,932	
当期増減額	(3,113,598)	0	(1,050,477)	-1,050,477	
R7年期首残高			1,692,183		
R8年期首残高			641,706		

令和7年度 損益計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位：円)

I 一般正味財産増減の部	公益事業		生涯教育事業	法人事業	法人会計	合計
	県民健康フェア サイエンスイックフェス 検査と健康展	精度管理事業				
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入会金収入						
入会金	0		0	0	77,500	77,500
② 会費収入						
正会員会費収入	0		0	0	4,460,000	4,460,000
賛助会員会費収入	0		0	0	860,000	860,000
県会員費収入	0		0	0	0	0
③ 事業収入						
事業収入	0		1,254,000	480,000		1,734,000
④ 補助金等収入						
助成金収入	500,000		530,000	0		1,030,000
受託収入	0	2,067,132	0	0		2,067,132
⑤ 雑収入						
受取利息	0		0	0	6,520	6,520
雑収入	5,000		55,685	0	578,618	639,303
経常収益計	505,000	2,067,132	1,839,685	480,000	5,982,638	10,874,455
(2) 経常費用						
① 事業費						
給与手当						0
諸謝金			60,000			60,000
会議費	24,500	666,516	574,383	3,415		1,268,814
旅費交通費	336,500		456,330	89,250		882,080
通信運搬費	1,500	224,130	138,330	70,440		434,400
消耗品費	57,069	984,237	30,314	17,208		1,088,828
印刷製本費	7,760	270,765	729,850	0		1,008,375
賃借料	489,505	10,000	174,160	786,654		1,460,319
渉外活動費						0
雑費			6,250	14,720		20,970
分野活動研究費			866,500			866,500
租税公課			21,942			21,942
② 管理費						
給与手当					1,365,706	1,365,706
福利厚生費					290,973	290,973
会議費					178,984	178,984
旅費交通費					1,212,847	1,212,847
通信運搬費					391,183	391,183
減価償却費						
消耗什器備品費					33,991	33,991
消耗品費					59,770	59,770
印刷製本費					162,235	162,235
光熱水料賃借料					708,437	708,437
九臨技負担金						0
雑費					190,262	190,262
租税公課					20,000	20,000
租税公課					198,316	198,316
経常費用計	916,834	2,155,648	3,058,059	981,687	4,812,704	11,924,932
当期増減額	-411,834	-88,516	-1,218,374	-501,687	1,169,934	-1,050,477
R7年期首残高						1,692,183
R8年期首残高						641,706

令和7年度 財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	細目	金額
I 資産の部		
1 流動資産		
① 現金	一般会計	129,624
	ひまわり奨学金	19,158
② 貯金		
	普通預金 琉球銀行 古島支店 135-420	1,289,470
	" 琉球銀行 真栄原支店 449-472	4,310,052
	" 琉球銀行 内間支店 654433	27,607,751
2 固定資産		
① 基本財産		0
② 特定資産(学会準備金)		0
③ その他固定資産		0
資産合計		33,356,055
II 負債の部		
1 流動負債		
① 未払い金		
② 前受金	令和8年度賛助会員費	780,000
③ 預かり金	所得税	-2,612
2 固定負債		
① 事業費	学会等準備金・事務所設立資金	4,310,052
② 事業費	ひまわり奨学金	27,626,909
負債合計		32,714,349
正味財産		641,706

令和7年度 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
①現金	148,782	①未払い金	0
②預金	33,207,273	②前受金	780,000
		③預り金	-2,612
		流動負債計	777,388
流動資産計	33,356,055	2.固定負債	
		①事業費	4,310,052
2.固定資産		②ひまわり奨学金	27,626,909
①基本財産	0	固定負債計	31,936,961
②特定資産(学会準備金)	0	負債合計	32,714,349
③その他固定資産	0	III 正味財産の部	
固定資産計	0	1.指定正味財産	
		①補助金	0
		②受取利息	0
		指定正味財産計	0
		2.一般正味財産	
		一般正味財産計	641,706
		(うち基本資産への充当額)	
		(うち特定資産への充当額)	
		正味財産計	641,706
資産合計	33,356,055	負債及び正味財産合計	33,356,055

令和7年度 特別会計

令和7年4月1日～令和8年3月31日

① 学会/事務所設立準備金

	適用	科目	入金	出金	残高	領収証番号
(収入の部)						
	前年度繰越金		4,302,961		4,302,961	
	利息		7,091		4,310,052	
(支出の部)						
	学会準備			0	4,310,052	
	事務所設立準備			0	4,310,052	

② ひまわり奨学金

	適用	科目	入金	出金	残高	領収証番号
(収入の部)						
	前年度繰越金	奨学金	29,394,055		29,394,055	
	利息		46,684		29,440,739	
(支出の部)						
	前期奨学金(奨学生×3)	奨学金		901,155	28,539,584	
	後期奨学金(奨学生×3)	奨学金		901,155	27,638,429	
	切手/レターパック	通信運搬費		6,930	27,631,499	
	選考会議	会議費		4,590	27,626,909	

監査報告書

令和 8年 5月 7日

一般社団法人沖縄県臨床検査技師会
会長 山城 篤 様

監事 瀬戸 司 (印)

監事 手塚 根 稔 (印)

私たち監事は、当技師会の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行についての監査を行いました。その内容について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について必要に応じて報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当技師会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及び付属明細書について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適切に示しているものと認めます。

以上

令和8年度事業計画

事業報告のほうでも触れましたが、現在、日本の医療情勢は、持続的な物価高騰と人件費上昇等により、医療機関の経営が極めて厳しい状況にあります。先日、日臨技からも指針が出ました。現在の医療を取り巻く環境においては、「高齢化」、「急性期の維持」、「医療資源が少ない地域」などの課題があげられております。

このような社会環境、医療情勢の中で、日臨技は10年先、20年先を見据えた職場環境を維持させる目的で、知識・技術の研鑽に努め、国民に対し、“より質の高い医療”を提供させることを望んでおります。今年度の日臨技の重点課題は、①精度管理事業の持続可能な体制整備に向けた検討、②品質保証施設認証制度の再構築、③「品質保証された検査データベース」構築に向けた卒業後教育の充実、④IFBLS2026の開催、⑤多職種連携医療（診療支援）の担い手として信頼できる臨床検査技師の育成、⑥他職種と連携して互いの業務を補完できる医療人としてのスキルアップを目指した自己キャリアプランの支援に主眼を置いた生涯教育研修制度の再構築、⑦業務改善（タスクシフト/シェア・病棟配置）を推進するため、病院検査室幹部に業務改善力・企画提案力を向上するための事業を展開、⑧災害時における実効性のある体制整備、⑨次世代を担う臨床検査技師の輩出につなげる“人材育成プロジェクト”の展開。以上があげられております。

今年度は、2年に1度の診療報酬改正の年でもあり、その中で、検査室や臨床検査技師に関連する事項が、これまで以上に評価されている。特に、病棟業務の関わり方やタスクシフト/シェアの観点からは、前述した⑤、⑥、⑦が大きく関与してきます。これは、この2年間で非常に重要で、検査室として、臨床検査技師としてどう動いていくかを問われているように感じます。沖縄県臨床検査技師会も日臨技の指針に沿って展開していきたいと思っております。

今年度の日臨技の重点課題として、昨年度まであげられておりました「タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」は、昨年度の第11回を持って沖縄県内での開催は終了いたしました。今後は、中央もしくは、日臨技九州支部で開催され、後者の九州支部においては九州北部地区と九州南部地区の2ヶ所で開催予定となっております。この資格は、臨床検査技師免許へ添付する意味合いの重要で、且つ、今後の臨床検査技師業務のあり方に不可欠な資格となってきますので、未受講の方は早めに受講されますようお願い申し上げます。

第4回目となる「地域リーダー育成研修会」は、時期・開催場所に関しては、調整中ですが、継続して開催を予定しております。今回も日臨技から講師を招いて、グループワークも組み込んだ内容となっておりますので、非常に勉強になるかと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

臨地実習に関してですが、昨年度の実習生より、臨地実習受け入れ施設においては1名以上の臨地実習指導者の配置が義務付けられました。沖縄県では受け入れている全施設満たしているかと思っておりますが、複数の指導者が存在することが好ましいと思っております。実習する学生も、そして実習生を受け入れる側も実習内容のレベルアップが求められ、質の高い臨床検査技師の育成が社会的地位の向上にも繋がることから、是非多くの施設の皆さまの協力をお願い致します。

新人研修会につきましても開催予定ですが、やはり若手の交流の場として非常に重要な立ち位置を占めており、今年度も宿泊なしの終日開催を実施したいと思っております。

公益活動としては、令和8年8月16日（日）に沖縄コンベンションセンターで、なごみ会主催「県民健康フェア」を開催いたします。今年度から県民健康フェアの名称が変更され、企画も大きく変わる予定で、学生をターゲットにした各団体の職種をPRする方向に展開されます。是非、ご家族で足を運んでいただければ幸いです。11月には恒例の全国「検査と健康展」を開催予定しております。これは日臨技からの委託事業にあたり、沖臨技の理事や学術委員を中心に活動しております。内容的にも少し見直す時期にきており、例えば臨床検査技師業務のみに直結した内容など、今年度から展開を見直していきたいと考えております。

学術活動に関しては、まず、2026年度沖縄県医学検査学会（第61回）が令和8年7月26日（日）に琉球大学医学部西普天間キャンパス教育等で開催されます。学会テーマは「新体制が導く臨床検査の羅針盤」となっており、企画は、特別講演に今年度から日臨技の新会長を務める長沢光章先生をお招きし、所信表明の講演を予定しております。部門企画は輸血検査部門、臨床生理部門が担当いたします。多数のご参加をお待ちしております。

次に、日臨技助成金申請研修会についてですが、昨年度は12研修会の活用に終わりました。今年度は、一昨年度と同じく最大20研修会を目標に、会員の皆さまへ還元できるような内容を学術部各分野目指して参ります。加えて、令和8年度（第42回）沖縄県医師会臨床検査精度管理調査も例年どおり9月頃に実施いたします。

日臨技は、昨年度47都道府県における行政との災害対策協定の締結を推進しておりますが、当会も今年度には行政と締結を結び、いざ災害が起こった時にスムーズに動ける体制を構築していきたいと考えております。

連盟については、現在臨床検査技師の国会議員が不在の状況が続いております。法改正つまり臨床検査技師の地位向上には政治的力が必須であります。政治へ無関心な若手技師が多い中、技師連盟においても同様に連盟加入者も激減しており、日臨技自力で国会議員を擁立することが困難な状況に陥っております。それを打破するためには、若者に連盟の必要性や政治とのかかわりの重要さを認識していただく必要があり、是非加入していただきたいと思っております。

沖臨技の事業の一つに、4年前から開始した「ひまわり奨学金事業」がありますが、令和5年に1名、令和6年に2名、昨年度は1名の奨学生が誕生しました。今後も県内の各高等学校へは案内をかけ、将来沖臨技を背負って立つような優秀な人材獲得に注力していきたいと思っております。該当する学生がおりましたら、是非ご紹介下さいますようお願い申し上げます。

最後になりますが、事業報告のほうでも少しお話しておりますが、会計の面で、一昨年度に技師会PCの総入れ替えや事務員の雇用補償などの見直しなど、大きな支出がありました。それに対して、昨年度は若干意識した取り組みを実施いたしました。今年度はより意識した取り組みを行って参ります。その一環の一つとして、第4号議案において会費の改正について提起しており、諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年度も、沖縄県民から信頼されるよう社会的な認知度向上に向けて、広報活動にも注力していく所存です。会員並びに賛助会員の皆様方のさらなるご協力を宜しく願いいたします。

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会
会長 山城 篤

総務関係

1. [組織運営の強化]

- 1) 日臨技、九州支部、各都道府県技師会との連絡・連携体制の構築及び維持
- 2) 会員数の増加が横ばい状態に推移しつつあり、引き続いての継続会員の維持及び新入・再入会員確保に努める
- 3) 日臨技企画講習会の効率的な稼働及び各種認定技師制度の啓発・取得促進をはかる
- 4) 行政庁、他医療関連団体との交流を密にし、連携をはかる
- 5) 財務管理の徹底と強化
- 6) 各種委員会の円滑運用の補助
- 7) 沖臨技記念誌の発刊

2. [情報、連絡網の強化]

- 1) メールでの定期便の活用（会員および賛助会員への情報提供）
- 2) 個人情報保護を鑑みた会員名簿の適正管理
- 3) 先島地区の情報共有と学術支援
- 4) 日臨技会員専用サイトの活用普及と情報更新の促進

3. [広報活動]

- 1) 沖臨技ホームページの充実（円滑運用、情報発信の強化）のための補助
- 2) 各種メディアの活用

4. [その他]

- 1) 沖臨技会誌の継続発行
- 2) 各賞受賞祝賀会及び新年会の開催
- 3) 渉外、学術と協働した事業の推進
- 4) 日本臨床検査技師連盟沖縄県支部活動への協力
- 5) 災害対策における行政や関係団体との連携強化

渉外関係

1. [2026年度日臨技九州支部医学検査学会（第60回）開催に向けた県内の啓発活動]

会期：令和8年11月7日（土）・8日（日）

会場：別府国際コンベンションセンター（B-CON Plaza）

学会テーマ：「スパーク！臨床検査 ～60年の歩みが生み出す新たな輝き～」

2. [第14回新人研修会の開催]

日時：現在調整中

場所：現在調整中

近年宿泊する受講者の減少により、今年度も宿泊なしの終日開催を実施する。

3. [令和8年度第4回沖臨技主催地域リーダー育成研修会の開催]

日時：現在調整中

場所：現在調整中

4. [公共事業の継続]

1) なごみ会主催の県民健康フェアに変わる新しい企画への参加

開催日：令和8年8月16日（日）

場所：沖縄コンベンションセンター

2) 日臨技公益委託事業 全国「検査と健康展」2026の開催

開催日：令和8年11月頃予定

場所：現在調整中

5. [他医療団体との連携活動]

1) 各種関連団体主催行事などへの参加協力

2) 沖縄県医療保健介護連合（なごみ会）や沖縄県医療推進委員会への参加

3) 関連団体の新年会・祝賀会等への参加

6. [その他]

沖縄県臨床検査技師会発展のための事業等

学術関係

1. [令和8年度第61回 沖縄県医学検査学会]

- ・会期:令和8年7月26日(日)
- ・会場:琉球大学医学部西普天間キャンパス教育棟
- ・学会テーマ:「新体制が導く臨床検査の羅針盤」
- ・学会長:登川 雅子(沖縄県臨床検査技師会副会長/友愛医療センター)
- ・副学会長:今泉 直樹(沖縄県臨床検査技師会理事/琉球大学医学部保健学科)
- ・副学会長:立津 千絵(沖縄県臨床検査技師会理事/南部徳洲会病院)
- ・実行委員長:田盛 仁(沖縄県臨床検査技師会事務局長/沖縄県立北部病院)
- ・事務局長:喜納 はるみ(沖縄県臨床検査技師会理事/中部地区医師会)
- ・参加費 会員:2,000円(税込み) 非会員:5,000円(税込み) 学生:無料
- ・特別講演:日本臨床衛生検査技師会 会長
- ・部門セミナー(2企画):輸血検査部門、臨床生理部門
- ・一般演題:35演題(予定)
- ・ランチョンセミナー:5社

2. [部門別検査研究の運営]

今年度も日臨技に準じて、9部門14分野の学術活動(研修会・講演会等)で運営して行く。
また、沖縄県医師会精度管理調査委員会から実行委員長、副実行委員長も、数年前から学術委員として位置付けている。

<部門別検査研究分野>

部門	分野
1. 生物化学分析	1) 臨床化学検査
	2) 免疫血清検査
2. 臨床生理	1) 神経生理検査
	2) 循環・呼吸生理検査
	3) 画像診断検査
3. 病理・細胞	1) 病理検査
	2) 細胞検査
4. 臨床一般	一般検査
5. 臨床血液	血液検査
6. 臨床微生物	微生物検査
7. 輸血細胞治療	輸血検査
8. 遺伝子	遺伝子検査
9. 臨床検査総合	1) 検査管理
	2) 医療情報

<精度管理調査委員会>

実行委員長	副実行委員長
-------	--------

3. [令和8年度(第42回)沖縄県医師会臨床検査精度管理調査の実施]

県内の約80施設を対象に、今年度同様、生化学、免疫・血清検査、微生物検査、血液検査、一般検査、輸血検査、生理検査、病理、細胞検査の9分野について実施予定(9月頃実施予定)。

4. [第75回日本医学検査学会(青森県臨床検査技師会担当)]

会期:2026年9月26日(土)27日(日)

会場:幕張メッセ 国際会議場、国際展示場 TKP 東京ベイ幕張ホール

学会テーマ:「今、命を未来へつなぐ。イノベーションへの架け橋」

5. [2026年度九州支部医学検査学会(第60回)の開催]

会期:2026年年11月7日(土)・8日(日)

会場:別府国際コンベンションセンター(B-CON Plaza)

〒874-0828 大分県別府市山の手町12-1

学会テーマ:「スパーク!臨床検査 ~60年の歩みが生み出す新たな輝き~」

6. [沖臨技新人研修会の開催]

現在調整中

※技師会の組織・各業務内容の説明、技師連盟、各学術分野長によるレクチャーと新人の交流会。

7. [機関誌の発行]

今年度も学会誌を含んだ沖縄県臨床検査技師会誌第62巻を発刊する。論文や学術関連、啓発活動などの年間行事だけでなく、引き続き一般会員に反映できる場として位置づけていきたい。

8. [各種研修会]

日臨技から1研修会につき最大5万円が支払われる助成金制度に関しては、今年度も各都道府県において20研修会を上限に支給される見込みである(Webのみの開催も対象)。昨年度は12の研修会に支給されたが、今年度は再度上限の20研修会を目指し充実した研修会を開催していきたい。

9. [学術会議の継続]

学術理事、部門長、分野長を含めた学術会議は奇数月の第4水曜日に定例的に開催している。昨年度は4回開催された。理事会や各部門からの周知事項を共有する場として今年度も計画的に開催する。

令和8年度予算案（比較表）

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年5月作成

	R6年予算	R6年決算	R7年予算	R8年予算	備考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 入会金収入					
入会金	100,000	72,500	75,000	80,000	¥2500×(正32名,再0名)
② 会費収入					
正会員会費収入	4,500,000	4,475,000	4,500,000	4,450,000	890名×¥5,000
賛助会員会費収入	880,000	840,000	880,000	840,000	42社×20,000
県会員費収入	-	-	-	-	
③ 事業収入					
事業収入	2,000,000	1,667,000	1,800,000	2,100,000	県学会広告、参加費等
④ 補助金等収入					
助成金収入	1,500,000	1,422,000	1,400,000	1,000,000	健康展、研修会
受託収入	1,700,000	1,886,852	1,900,000	2,000,000	医師会精度管理事業
⑤ 雑収入					
受取利息	100	2,249	100	2,000	
雑収入	319,900	429,059	269,900	600,000	
経常収益計	11,000,000	10,794,660	10,825,000	11,072,000	
(2) 経常費用					
① 事業費					
給料手当	-	-	-	-	
諸謝金	120,000	90,000	100,000	70,000	
会議費	1,000,000	1,366,519	1,100,000	1,100,000	弁当など
旅費交通費	600,000	989,127	600,000	880,000	行動費など
通信運搬費	250,000	264,146	250,000	450,000	発送費など
消耗品費	1,100,000	1,107,815	1,000,000	1,000,000	精度管理試薬など
印刷製本費	800,000	1,114,135	900,000	300,000	
賃借料	1,000,000	1,443,352	1,200,000	1,460,000	
渉外活動費	780,000	-	10,000	-	
雑費	20,000	20,250	20,000	20,000	
分野活動研究費	1,200,000	1,252,000	1,200,000	900,000	
租税公課	20,000	23,762	20,000	20,000	
② 管理費					
給料手当	1,100,000	1,113,070	1,450,000	1,450,000	
福利厚生費	200,000	305,077	250,000	300,000	
会議費	200,000	176,263	180,000	80,000	
旅費交通費	900,000	1,454,275	900,000	1,200,000	
通信運搬費	350,000	980,653	450,000	400,000	
減価償却費	-	-	-	-	
消耗什器備品費	100,000	1,011,835	-	50,000	
消耗品費	150,000	188,673	80,000	60,000	
印刷製本費	300,000	194,546	200,000	200,000	
光熱水料賃借料	700,000	713,350	800,000	800,000	
九臨支部負担金	30,000	26,725	30,000	-	
雑費	50,000	42,786	50,000	112,000	
租税公課	30,000	20,000	20,000	20,000	
法定福利費		9,899	15,000	200,000	
経常費用計	11,000,000	13,898,359	10,825,000	11,072,000	
当期経常増減額	-	-3,103,699	-	-	

令和8年度予算案（内訳表）

令和8年4月1日～令和9年3月31日

令和8年5月作成

I 一般正味財産増減の部	継続事業		生涯教育事業	法人事業	法人会計	合計
	検査と健康展 予防啓発事業 日臨技助成事業	精度管理事業				
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入金収入						
入金金	0	0	0	0	80,000	80,000
② 会費収入						
正会員会費収入	0	0	0	0	4,450,000	4,450,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0	840,000	840,000
県会員会費収入	0	0	0	0	0	0
③ 事業収入						
事業収入	0	0	1,600,000	0	500,000	2,100,000
④ 補助金等収入						
助成金収入	500,000	0	500,000	0	0	1,000,000
受託収入	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000
⑤ 雑収入						
受取利息	0	0	0	0	2,000	2,000
雑収入	0	0	0	0	600,000	600,000
経常収益計	500,000	2,000,000	2,100,000	0	6,472,000	11,072,000
(2) 経常費用						
① 事業費						
給料手当	0	0	0	0		0
諸謝金	0	0	70,000	0		70,000
会議費	20,000	580,000	500,000	0		1,100,000
旅費交通費	200,000	0	600,000	80,000		880,000
通信運搬費	150,000	140,000	150,000	10,000		450,000
消耗品費	70,000	900,000	30,000	0		1,000,000
印刷製本費	20,000	260,000	20,000	0		300,000
賃借料	300,000	10,000	350,000	800,000		1,460,000
渉外活動費	0	0	0	0		0
雑費	10,000	0	10,000	0		20,000
分野活動研究費	0	0	900,000	0		900,000
租税公課	0	0	20,000	0		20,000
② 管理費						
給料手当					1,450,000	1,450,000
福利厚生費					300,000	300,000
会議費					80,000	80,000
旅費交通費					1,200,000	1,200,000
通信運搬費					400,000	400,000
減価償却費					0	0
消耗什器備品費					50,000	50,000
消耗品費					60,000	60,000
印刷製本費					200,000	200,000
光熱水料賃借料					800,000	800,000
九臨技負担金					0	0
雑費					112,000	112,000
租税公課					20,000	20,000
法定福利費					200,000	200,000
経常費用計	770,000	1,890,000	2,650,000	890,000	4,872,000	11,072,000
当期増減額	-270,000	110,000	-550,000	-890,000	1,600,000	0

令和8年5月7日

沖縄県臨床検査技師会
会長 山城 篤 殿

令和8年・9年度沖縄県臨床検査技師会役員推薦について(答申)

日頃より沖縄県臨床検査技師会の運営、発展に多大なるご尽力を注がれていることに敬意を申し上げます。今回、令和8年1月14日に役員推薦委員の委嘱を受け、役員推薦委員会が設置されました。話し合いの結果、推薦委員会としての最終案がまとまりましたので答申いたします。

役員推薦委員会としては、以下の基本姿勢で役員の推薦にあたりました。

- 1) 過去に行われてきた推薦委員会の人選手法を踏まえ、はじめに現役員の継続意思の確認を行った。
- 2) 現役員に役員継続の意思の確認が得られた場合、候補者として推薦した。
- 3) 原則として、推薦にあたっては積極性、協調性、そして指導力を念頭に置き、十分に考慮し推薦した。
- 4) 地域や施設間のバランス性が考慮されるべきであるが、実際に人選するにあたっては、それらのことが技師会運営の弊害とならないようにした。
- 5) 日本臨床衛生検査技師会では平成17年(2005年)に女性部会が設置された。19年経った現在、女性技師の意見や活動は技師会運営の大きな力となっており、女性技師も積極的に推薦した。

以上の基本姿勢で、役員推薦という目的のために委員同士の検討を重ね、その責務を全うしました。

新理事会がこれまで以上に活発な議論の場となり、沖縄県臨床検査技師会の発展に寄与することを祈念しております。

【役員推薦委員会】

當銘 弘幸(沖縄赤十字病院)※
大嶺 淳(沖縄県立八重山病院)
新垣 直彦(琉球大学病院)
新里 直子(ハートライフ病院)
與那嶺 淳(中部徳洲会病院)

※委員長

**令和8・9年度
一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 理事候補者**

理事候補者

氏名	施設名
山城 篤	那覇市立病院
國仲 伸男	琉球大学医学部保健学科
宮里 泰山	沖縄県立中部病院
登川 雅子	友愛医療センター
田盛 仁	沖縄県立北部病院
立津 千絵	南部徳洲会病院
喜納 はるみ	中部地区医師会
喜舎場 良香	浦添総合病院
仲宗根 雅司	沖縄赤十字病院
山内 恵	琉球大学病院
八幡 照幸	沖縄県立北部病院
牧志 輝	沖縄県立中部病院
小坂橋 まゆり	首里城下町クリニック第一
赤嶺 あかね	那覇市立病院
今泉 直樹	琉球大学医学部保健学科
赤嶺 光	中部徳洲会病院
渡久地 陽架	北部地区医師会病院
伊計 義人	沖縄県立宮古病院
久場 恵美	中頭病院
島袋 泰彦	ハートライフ病院

監事(1期4年:令和6~9年)

氏名	施設名
手登根 稔	浦添総合病院
瀬戸 司	アドベンチストメディカルセンター

令和9年度に向けての沖臨技会費の改正について

会員・賛助会員の皆さまにおかれましては、当会への活動に、ご理解、ご協力をいただき感謝を申し上げます。

さて、本会では、会員の皆さまへサービスの向上と、安定的な組織運営に努めてところでありますが、昨今の物価の高騰や人件費の上昇により、現行の会費では運営を維持することが困難な状況となっております。

つきましては、誠に不本意となりますが、令和9年度から下記の内容で、会費を改定させていただきますようお願い申し上げます。

まず、現在までの会員の皆さまの年会費15,000円の内訳となりますが、日臨技へ10,000円、沖臨技へ5,000円を納付される構成となっております。今回は、後者にあたる沖臨技部分の改定が対象となります。次に、賛助会員の皆さまの年会費は、全額沖臨技へ納付される形となっております。

1. 改訂内容

会員：（現行）5,000円 → （改正後）7,000円

賛助会員：（現行）20,000円 → （改正後）30,000円

2. 実施時期

令和9年1月1日（令和9年度から適用）

3. 問い合わせ

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会 事務局

〒901-2104 沖縄県浦添市当山2丁目5番11号 安河アパート103

TEL/FAX:098-870-0702 E-mail:office@okiringi.or.jp

会員、賛助会員の皆さまには、ご負担をおかけすることになりますが、役員一同、今後もより一層の活動の充実とサービスの向上に邁進していく所存です。諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会

会長 山城 篤